

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒 本ノ勝中
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 1 番 1 号

試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場 8 4 - 9
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：クリ 1 0 スリムコーナー II K 1 0 S II 用途：柱の仕口に使用する金物 (中柱型) 寸法：110×50×30mm, 厚さ 2.3mm (図-2 参照) 材質：溶融亜鉛-6% アルミニウム-3% マグネシウム合金めっき鋼板 ZAM (MSM-HK400-DA 120) 2. 接合具 柱側木ねじ：クリスパリラルビス 7×65, 4本使用 横架材側木ねじ：クリ鍋ビス 7×90, 2本使用 3. 使用軸組 柱及び横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 4. 試験体数 7体 (うち 1 体は予備試験体) 参照：図-1 及び図-2 (試験体の形状・寸法)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の 2 章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1 に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 (P o t) : 1 1 . 7 k N 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3 及び図-4 破壊状況：写真-1 ~ 写真-6
備考	当該試験結果は, 平成 1 2 年建設省告示第 1 4 6 0 号表三 (へ) に定める 1 0 k N 用引き寄せ金物 (必要耐力 1 0 . 0 k N) に該当する。
試験期間	平成 2 1 年 7 月 1 5 日
担当者	構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 赤城 立也 試験実施者 渡辺 一 上山 耕平 佐島 淳之 北村 保之
試験場所	中央試験所